

赤潮警報続報 (シャトネラ アンティーカ)

鹿児島県水産技術開発センター
平成21年8月5日

八代海 赤潮警報続報 No.2

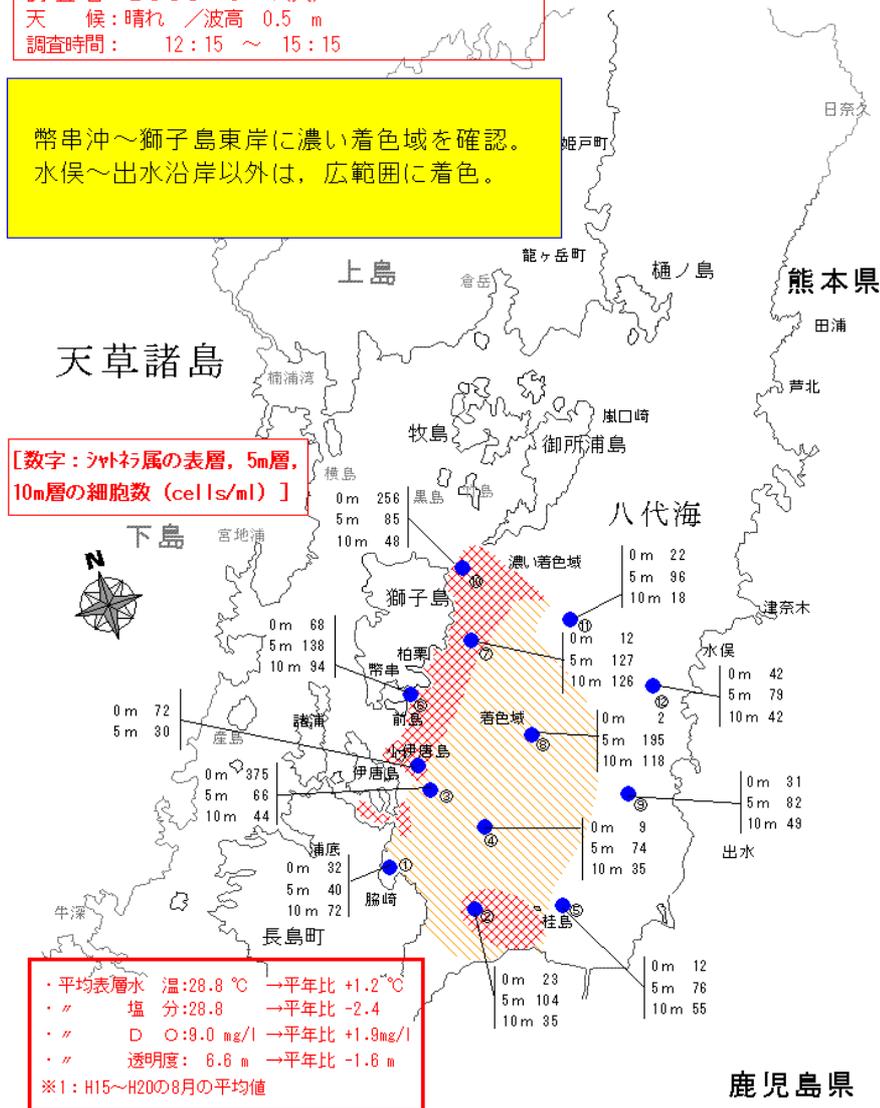
[1] 8月4日の調査結果

昨日調査した結果、シャトネラ属（アンティーカ及びマリーナを含む）が最大375 cells/ml確認しました。獅子島幣串沖から東岸にかけて、桂島周辺及び伊唐島南に濃い着色域が確認されました。ほか着色域は、水俣～出水沿岸以外で広範囲に見られました。

【鹿児島県水技センター，東町漁協調査】 (赤潮警報発令中)

調査日：2009. 8. 4(火)
天候：晴れ / 波高 0.5 m
調査時間：12:15 ~ 15:15

幣串沖～獅子島東岸に濃い着色域を確認。
水俣～出水沿岸以外は、広範囲に着色。



[2] 今後の赤潮発生の予想

同日の東町漁協による調査でも、シャトネラ属による着色域は長島東岸域だけでなく、獅子島北部から御所浦、諸浦島沿岸の長島海峡側まで着色が見られています（最大2600cells/mlを確認）。今後も北よりの風の影響で、着色域が南下する可能性がありますので、嚴重な警戒が必要です。また着色の見られない海域でも、5m層以深にシャトネラ属が多く存在するのが確認されており、八代海全体にシャトネラ属が存在していると思われます。これまで同様、競合する珪藻類が少ない状況であり、今後の海況、天候次第では、細胞数の増加が懸念されます。

シャトネラ アンティーカは着色しないような細胞数（30～50cells/ml）でも、養殖魚類のへい死事例がありますので、検鏡による細胞数の動向を把握するとともに、餌止めなどの対策が必要です。